

経済指標ウォッチャー

米ISM景況感指数 非製造業指数が過去最高の水準に

製造業、非製造業ともに雇用の改善が続く

ISM景況感指数とは？

全米供給管理協会（ISM）が製造業・非製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国企業の景況感を示す指標のひとつ。製造業が毎月第1営業日、非製造業が毎月第3営業日に公表される。50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

製造業・非製造業ともに60を上回る

全米供給管理協会(ISM)が4月1日に発表した、2021年3月の製造業景況感指数は、事前予想(61.5)を上回る64.7と前月の60.8から3.9ポイント上昇しました(図表1)。4月5日発表の3月の非製造業景況感指数も、事前予想(59.0)を上回る63.7と前月の55.3から8.4ポイント上昇しました(図表1)。2月には悪天候の影響等から非製造業指数は低下しましたが、3月には気候が温暖になり人の移動が活発化した等の影響もあり、1997年の統計開始以降で最高水準となりました。

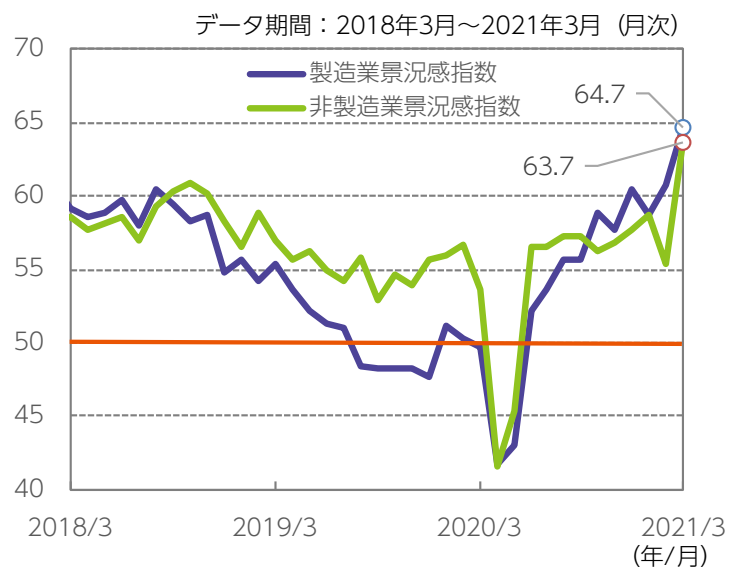
業種別では製造業の18業種中17業種、非製造業では18業種全てで活動拡大が報告されており、幅広い業種において景況感の改善が継続しているとみられます。

雇用の景況感は改善が続く

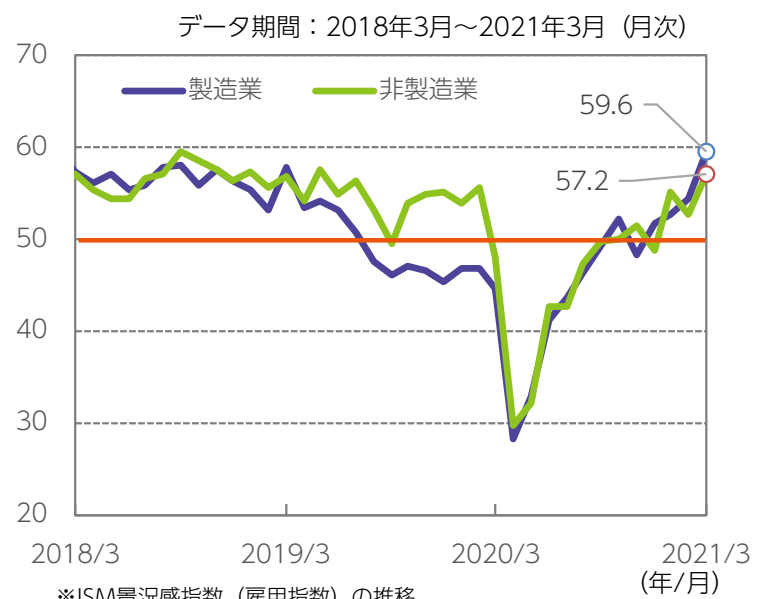
構成指数では、雇用が製造業59.6、非製造業57.2と50を大きく上回っています(図表2)。2日に公表された雇用統計で非農業部門雇用者数が事前予想を上回る伸びを見せたことを裏付ける結果となりました。また、新規受注が製造業68.0、非製造業67.2と60を大きく上回る水準となるなど、企業の景気への楽観的な見方が強まっているものと思われます。

新型コロナウイルスワクチン接種の進展、活動制限緩和、追加経済対策等により米国景気が本格的に回復するとの期待等もあり、今後も企業の景況感は50を大きく上回る水準で推移するものと思われます。

図表1：製造業・非製造業ともに60を超える



図表2：雇用の景況感改善が続く



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>